



おしえて！  
めんま院長  
～心房細動～



わたし、不整脈が  
あるんですけど…



## 不整脈は正確には病気の名前ではありません

### 不整脈

●経過観察が可能なもの

心房期外収縮 心室期外収縮など

●命には別条ないが、治療が必要なもの

**心房細動** 発作性上室性頻拍など

●治療をしないと命に係わる可能性がでてくるもの

心室細動 完全房室ブロックなど

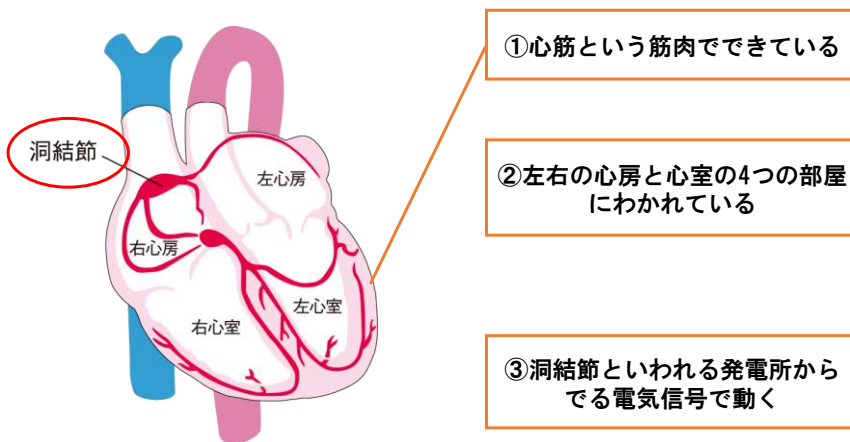
## 心房細動は不整脈のひとつです

心臓の心房部分が不規則に震えて  
規則正しい拍動ができなくなる不整脈です

命の危険にさらされるようなことは比較的  
少ないですが、適切な治療が必要な不整脈です

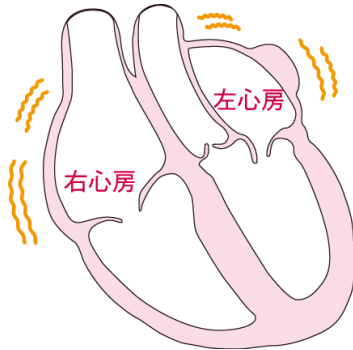


## 心臓は全身に血液を送るポンプの働きをします



規則正しい拍動を繰り返すことで、  
一日約10万回の脈をうちます

## 心房細動ってどんな不整脈？



心房細動は、心房がけいれんするようにとても速く小刻みに震えて、規則正しい心房の収縮ができなくなった不整脈です

→脈がバラバラになります

正常な人の心電図



心房細動患者さんの心電図



## 心房細動の原因

- ・ 心臓に病気のある人（心筋梗塞、弁膜症、心筋症など）
- ・ ストレスや不規則な生活習慣、アルコール
- ・ 加齢
- ・ 心臓以外の病気（高血圧、糖尿病、甲状腺機能亢進症など）

## 心房細動の症状

### ●心房細動の症状

心房細動では、次のような症状があらわれることがあります。



ただし、高齢者では、無症状のことも多く、定期健診の心電図検査などで初めて心房細動が見つかる場合もあります。

## 心房細動の種類

### ●心房細動の種類

心房細動は大きく3つに分類されます。

#### ①発作性心房細動

- ・心房細動の発作がときどき起こるもの。
- ・発作は7日以内に自然に止まります。
- ・強い動悸を自覚することがしばしばあり、日常生活で支障をきたすことがあります。

#### ②持続性心房細動

- ・心房細動の発作が7日以上続き、自然に止まらないもの。
- ・心房細動に慣れてしまい、自覚症状を伴わないこともしばしばあります。

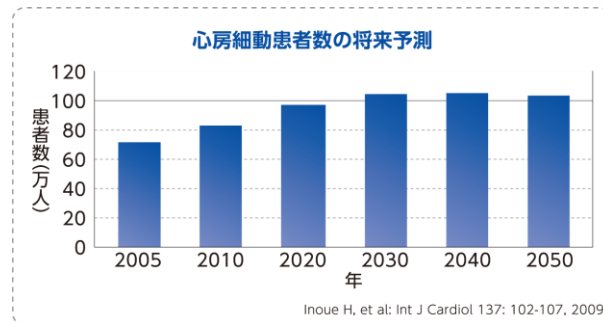
#### ③永続性心房細動

- ・心房細動が止まらず、正常な状態に戻らないもの。
- ・多くは脈の異常によるもので、自覚症状はありません。

## 心房細動の患者さんはどれくらいいるの？

心房細動は最も多くみられる不整脈です。心房細動は加齢とともに起こりやすくなる不整脈で、高齢者で多くみられるのが特徴です。今後さらに高齢化が進む日本では、2030年ごろには100万人を突破すると考えられています。

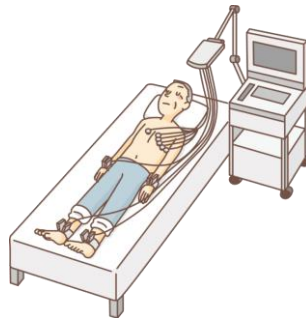
### 80歳以上の10人に1人は心房細動をもっている



## 心房細動の検査～心電図～

### ●心電図検査

心電図検査は、心臓に流れる電気信号を波形として記録するものです。



#### 正常な人の心電図



波の形、間隔が規則的です

#### 心房細動患者さんの心電図



スパイク状の波形が不規則に出現し基線は直線にならず全て細かくゆれるような波(細動波)が持続します

24時間1日の生活を通して心臓の動きを記録するホルター型心電図検査を行うと、発作性の心房細動が見つかることがあります。

## 心房細動の検査～心エコー～

### ●心エコー検査

心エコー検査は、超音波を使って体の外側から心臓の様子を観察するものです。心臓のかたちや機能、血液の流れの異常などをみつけることができます。



## 心房細動の検査～その他～

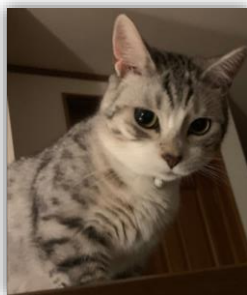
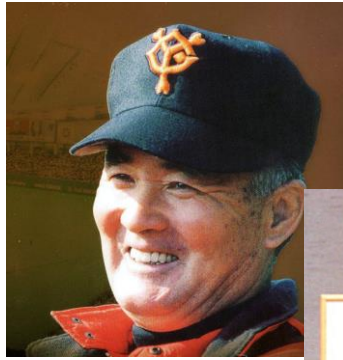
### ●胸部レントゲン写真



### ●血液検査

糖尿病の検査、BNP値、甲状腺機能検査  
お薬を飲むにあたっての肝機能や腎機能、貧血の検査など

Q：この3名は心房細動患者です  
共通点は何でしょう？



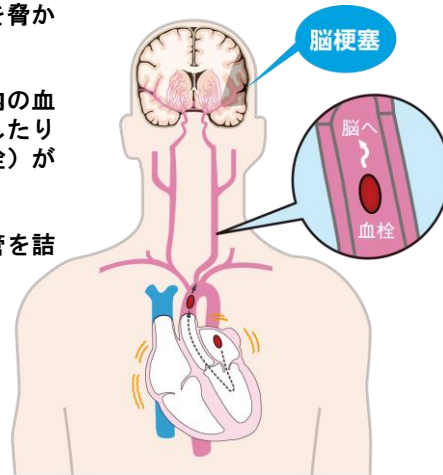
A：心房細動が原因で脳梗塞になった

## 心房細動があると何が怖いのか？

心房細動そのものは、ただちに命を脅かすものではありません。

しかし、心房細動があると、心房内の血の流れが乱れたり、血液がうっ滞したりして、心房内に血のかたまり（血栓）がでやすくなります。

血栓が心臓から飛び出して脳の血管を詰まらせると、脳梗塞を起こします。



### 心原性脳塞栓症

（脳梗塞全体の約1/3）

## 心房細動の治療

心房細動の治療は、

1. 心房細動以外の病気の治療  
や生活習慣の改善
  2. 脳梗塞の予防
  3. 心房細動そのものの治療
- の3つに分けられます。



## 脳梗塞の予防～抗凝固療法～

●いわゆる「血液をサラサラにする」治療です

**心房細動があると必ず脳梗塞になるわけではありません！！**

●こんな心房細動患者さんは要注意！



心不全など心臓病のある人

高血圧の人

高齢（75歳以上）の人

糖尿病の人

脳卒中（脳出血、脳梗塞）の  
既往がある人



心房細動があって、上記の項目に当てはまる人は脳梗塞を起こす危険性が高くなるため抗凝固療法の適応になります

## 心房細動そのものの治療～脈に対する治療～

### 【洞調律維持治療】

- ・心房で起こっている細動を取り除いて、心臓本来の正常心拍（洞調律：一定間隔での拍動）にコントロールします。
- ・心臓の拍動のリズムを正常な状態に近づけることで、自覚症状を軽減し、患者さんの日常生活の質の向上が期待できます。

### 【心拍数調節治療】

- ・心房細動が起こったままで、心拍数（一定の時間内に心臓が拍動する回数）をコントロールします。
- ・心拍数を正常な状態に近づけることで、自覚症状の改善につながります。

## 心房細動そのものの治療～薬以外の治療～

### 【カルディオバージョン】

・いわゆる電気ショック治療です。心臓に電気を通電させて洞調律に戻す治療です。薬が効きにくい患者さんに適応になります。

### 【カテーテルアブレーション】

・足の付け根の血管からカテーテルという管状の器具を通し、心房細動の原因となる異常な電気信号を発している部分に熱を加えて、不整脈を抑え込む内科的治療です。薬が効きにくい患者さんが適応になります。

### 【心臓ペースメーカー】

・正常な機能を失った心臓に人工的な電気信号を送ることで、本来の心臓の拍動を促す医療機器です。特に徐脈傾向になる患者さんに適応があります。

